

1年 目標 自分の将来の目標と大学の学部・学科について知る			
1 年	4月	スタディサポート	中学校時代の勉強方法から、高校の学習法への転換をさせる。
	6月	進路HR 中間考査 進路HR	進路手引き資料編の活用と、初めての中間考査の勉強方法を学ばせる。
	7月	面談週間  進研学力テスト7月 夏休み	自分になりたい職業を考えながら、職業と学部・学科の関係を知り、大学について調べさせる。(学部・学科調べ。進路資料室の利用。) 中間考査の結果や進路アンケートから学習がきちんとできているか等を三者面談で確認させる。 高校生の勉強方法に転換できているか、今までの学習内容を確認させる。 職業人インタビューを課題として与える。オープンキャンパスの紹介。
	8月	アチーブメントテスト	夏休みの課題を通じて今までの学習内容を確認させる。
	9月	期末考査	
	10月	進路HR	2年生の科目選択説明会を通して、文系理系など自分の進むべき方向を確認させる。
	11月	進研学力テスト11月	高校に入学してからの学力が定着しているかどうか全国レベルで確認させる。(苦手分野のチェックを行う。)
	12月	面談週間  中間考査 集中セミナー	前期成績の結果と進研学力テストの結果より入学当初から現在までの学習方法、国数英の基礎学力が定着しているかどうかを確認させる。 大学や企業で活躍している人の姿を見て自分の将来について考えさせる。
	1月	アチーブメントテスト	冬休みの課題を通じて今までの学習内容を確認させる。
	2月	期末考査	1年間の学習方法を振り返る機会とする。学習方法のアドバイスを聞き自分の学習法について再確認させる。
	3月	春休み	いろいろな経験を積んで将来進みたい方向を決める機会とする。
	2年 目標 志望校(目標校)を決定する		
2 年	4月	スタディサポート	1年生の学習方法と、国数英の基礎学力が定着しているかどうかを確認させる。(状況により3月に早期実施する。)
	6月	宿題考査 文理選択HR 進路HR	春休みの課題を通じて今までの学習内容を確認させる。 文理選択の説明を聞いて、自分の進むべき方向を確定させる。 進路の手引き資料編を見て、大学受験のしくみを知り、また先輩の体験談を読み自分の勉強方法を見つける機会とする。スタディサポートの結果から、国数英の基礎学力の確認と学習方法を確認させる。
	7月	中間考査 進研学力テスト7月 面談週間	高校1年に学習した内容がどれだけ定着しているかを全国レベルで確認させる。スタディーサポートや中間考査の結果から学習状況等がきちんとできているかどうかを三者面談で確認する。
	8月	オープンキャンパス	オープンキャンパスなどに参加して、大学について研究をし、将来について考えさせる。
	9月	アチーブメントテスト	夏休みの宿題を確実にできたかを確認させる。
	10月	期末考査 進路HR	学年集会を行い、文理別の新クラスのスタートを良い雰囲気迎えられようにする。
	11月	駿台全国模試  進路HR	受験に向けての第一歩として所謂ハイレベル模試(難関大学入試程度)を受けて今後の学習方法の方向性(弱点発見・補強)を見つける機会とする。 大学生・院生を招いて大学での研究や体験談を聞くことによって自分の進路を考える機会とする。
	12月	面談週間 中間考査 集中セミナー	1年半を見据えた勉強方法と、将来について担任と確認する(志望校の確認)。 大学や企業で活躍している人の姿を見て自分の将来について考えさせる。 各教科の学習事項を確認させる。
	1月	校内実力考査	1年後の共通テストへ向けて模擬体験し、後の学習の参考とする。また、自己採点を正確に行えるかどうか確認させる。
	2月	全統共通テスト模試 期末考査	
	3月	春休み	春休みの課題を通し、じっくりと各教科の弱点を補強させる。

### 3年 目標 志望校合格

3 年	4月	<b>スタディサポート</b>  <b>進路HR</b>	学習方法を確認し国数英の基礎学力が定着しているかどうかを確認し、本格的な受験勉強に入るための材料とする。(状況により3月に早期実施) 学年集会を行い良いスタートが出来る雰囲気づくりを行う。受験スケジュールや大学入試のしくみを確認し、志望校を決定する。
	5月	<b>校内実力考査</b> <b>進路HR</b> <b>全統共通テスト模試</b> <b>全統記述模試</b>	大学入試の基礎となる学力が定着しているか確認させる。 卒業生の経験談を聞いて一年間の学習方法を確認させる機会とする。 マーク問題で夏休み前の弱点と自分の位置を確認させる。 記述問題で夏休み前の弱点と自分の位置を確認させる。
	6月	<b>進路HR</b>  <b>中間考査</b>	校内実力考査とスタディーサポートの結果より、学習方法を再点検させる。進路手引き資料編を用いて、昨年度のデータと自分の成績の関連を見る機会とする。
	7月	<b>三者面談</b>	夏休みに向けての学習方法を確認し、志望校を再確認する。
	8月	<b>夏休み</b>  <b>全統共通テスト模試</b>	自分にあった学習方法を実践していくことにより、苦手分野の補強と応用力の養成をする。 マーク問題で夏休みの学習の成果を見て、弱点分野克服のために学習計画の見直しをさせる。
	9月	<b>校内実力考査</b> <b>全統記述模試</b> <b>期末考査</b>	5月の実力考査と比較し苦手科目がなくなっているかを確認させる。 記述問題で夏休みの学習成果を分析し、弱点分野の克服に努めさせる。
	10月	<b>共催記述模試</b>	記述問題で学力の最終確認をし、弱点分野の克服を達成させる。
	11月	<b>各大学別模試</b>	共通テスト対策と二次対策を両軸とし、志望校合格に向けて頑張らせる。 マーク問題で学力の最終確認をし、弱点分野を克服させる。
	12月	<b>共催共通テスト模試</b> <b>中間考査</b> <b>進路検討会</b>	生徒面談や三者面談に向けての情報共有を行う。志望校と校内実力考査・模試の結果を見ながら、各教科担当と最近の学習の様子や今後の見込み、学習の方向性等を話題とする。 受験校の最終確認をする。
	1月	<b>三者面談</b> <b>共通テスト特別演習</b> <b>大学入学共通テスト</b>	共通テスト対策の総仕上げと最終確認をさせる。 自己採点により受験校を決定させる。
	2月	<b>二者面談</b> <b>二次対策演習</b> <b>国公立二次試験</b>	※国公立個別学力試験を二次試験と呼び、その対策を二次対策と呼ぶ。